



一般社団法人
宗教2世支援センター
陽だまり

現場から見た 宗教2世支援という課題

(一社) 宗教2世支援センター陽だまり

秋本 弘毅



一般社団法人
宗教2世支援センター
陽だまり

自己紹介

©2023 nisei-hidamari

宗教2世問題
について考える



自己紹介 (一社) 宗教2世支援センター陽だまり 理事長 秋本 弘毅

- ▶ 生後半年くらいから母親がエホバの証人に関心を持ち、2歳ごろに正式に信者に、自身も15歳で正式な信者になる





自己紹介

- ▶ 25歳のときに脱会、その後エホバの証人2世のためのミニコミ誌「**あんどれいあ**」を発行
- ▶ 「**エホバの証人の子どもたちのホームページ**」と掲示板を立ち上げ、同時にエホバの証人2世のためのオフ会なども開催



日本で（おそらく）最初の宗教2世オフ会

©2023 nisei-hidamari

季刊 **あんどれいあ** 7(1997)2の未収録
1997年11月25日
「恋愛と結婚・若者たちの悩み」

入学試験や、入社試験等で、誰でも一度は面接というものを経験したことがあるはず。面接に合格したことがない人は、本当に優秀な人か、もしくは何も考えていない人かと思えます。

本気でその学校もしくは会社に入りたくて思っている人は、少なくともその場を良く見せようと、準備はいい備えない言葉で対処し、過去の定跡も都合の悪い部分を明らかにしなさいませ、その面接を切り抜けひたすら合格を願うのが大半の人の最も一般的な方法ではないでしょうか。

同じような状況は、好意を持つ相手と出会ったときにも当てはまるでしょう。

きつかけを手にしたとき、まずは好意度を高めるためにもあらゆる手段を試みるはずですが、いかに相手を不快にさせないかという事に十分気を遣うようになると言っても過言ではないかも知れません。

そして、二人の関係が徐々に深まっていくことを感じることが出来たら、本来の自分らしさを表現していくことでしょ。

それら過去の定跡、過去の癖、好み、職業、過去の定跡等それらを隠し続けるなら、相手に対して自分を偽っていることになり、それは誠実さを欠いていて、時には自分の望む結果にはならなくなる場合も十分に考えられます。

それは、誰かにつかうことですが、自分の感情に基づいて決定された自分の考え、過去の定跡、といったものが原因ならある種の積み重ね、次に本当の自分を理解してくれる相手を見出すための一つの動機づけともなるので、自分の感情に基づかないで決定された自分の考えや、過去の定跡によって二人の仲が気まずいものになってしまった場合、それに対して、次回に対する教訓を教訓するところか、むしろ、次のきっかけに対して偽りを許すでしょうか、もしくは、不誠実にも自分を偽り続けるほうが良い結果を残せるという考えを生み出す温床にもなりかねません。

私も、エホバの証人の二世として育てられ、自分の感情に基づかず決定された過去の定跡を持つものとして、常に、好意を持つ相手と知りあう機会があっても、この

大きなマイナス要因を出るだけ怖れまいとして、不誠実にも隠し続けられるものなら隠し続けたいと思いついてきた人隊の一人です。

このような考え方は、私のように組織から離れていった大抵の若い人なら常に頭を悩ますジレンマの一つであるように思えます。

中には、組織を抜けた若い人でも、一般の人と交際するにあたり早めに自分の過去を明らかにした結果、その過去の誤謬正しい生活が、現在の人格を形作っているのだから構わない、と理解を示してくれる相手もいるようではあるが、それは運に恵まれた稀なケースではないかと思われま。

大抵の人は、自分が過去エホバの証人であったことを隠しておいたほうが気が楽であり、説明に時間を割くこともなく、思い出したくない過去の過去に悩まされる必要もないと考えるのが自然ではないでしょうか。

また、上記のような状況の中であらゆる紮余曲折を経たほうが正しい関係が築ける二人も、自分の過去を早めに明らかにしてもなお関係が壊れることなく維持できた二人も、恋愛期間は滞り無く経過しても、いざ結婚という段階になると状況は確実に変化するのはです。

なぜなら、結婚には基本的な両者の承諾が必要で、互いの関係は少しの不安材料の無い相手を目指すため、エホバの証人としての生活を余儀なくされた人間に対し、大きな理解を示す可能性は極めて低いからです。

一方、不慮者とくひきを共にしない事が大前原のエホバの証人の飛の証者も、かなり異なる場合、乗り越えなければならぬハードルはさらに高いものになるでしょう。

現に、私の周囲の少ない事例の中でもこの問題を頭を悩ませている人もいます。

これらの状況が、組織とはなれた若い人の恋愛、結婚に悪い影響を及ぼしている原因の大きな部分を占めているようではありません。

確かに、若いエホバの証人内においても、恋愛や結婚に関して若い人を対象にした書籍がありますが、その内容は、如何にして自分の中に滲き上がるある種の歌を律するかどうかという部分に重きが置かれ、若い世代が進んだとしてもあまりにも自分の抱えている問題とのひらきがありすぎるので、具体的な対処は最終的に自分の中で決着をつけなければならぬという過えず消化不良の状態で続く

宗教2世問題
について考える



自己紹介

- ▶ 「エホバの証人の子どもたち—
信仰の子らが語る本当の姿」を執筆

現在でも各地域の図書館で読むことができる





自己紹介

- ▶ 任意団体 (元・現) エホバの証人のための相談室
ピア・サポート「陽だまり」
を設立しホットラインを開設
掲示板相談と合わせ延べ人数
で数百人(1000人弱)の方々の
相談に対応

(元・現) エホバの証人のための相談室

ピア・サポート 「陽だまり」

■サイトの紹介

あなたは元エホバの証人ですか？

現在でもエホバの証人ですか？

不活発ですか？排斥されましたか？

自分がエホバの証人であった、または現在もそうである、ということに悩みを感じることはありますか？

なぜこのような質問をするかという、あなたと同じ状況の人の多くが同じような悩みを抱えるのです。それでもその悩みは単なる悩みになりません。悩みを持つこと自体を悩まなければならず、二重の意味でその人を苦しめるのです。

その悩みを誰に打ち明けることができるでしょうか。

それは現役の模範的な信者ですか。長老ですか。それとも二世であるなら親でしょうか。多くの場合信仰を強めるための励ましや助言は得られても、本当の意味で悩みや苦しみを理解してもらうことはまれです。祈り、信仰の活動への参加、従順であること、霊性を高めること、エホバにより頼むことなど言うことでしょうか。それで物事は解決するのでしょうか。本当に信仰を持つエホバの証人であればエホバの証人であったことで悩むことはありませんし、不活発や排斥になったのは霊性が下がっている証拠だけだからです。

一般の人はどうでしょうか。思い切って言うこともあるでしょう。しかしそれはあまりに奇妙な話に聞こえるかもしれません。また理解が難しい話でもあります。言うだけで奇異な目で見られることもありますし、多くの場合相談できるほどの情報もないでしょう。また「世の人」です。

元エホバの証人はどうでしょう。それは危険なことだと言われてきたのです。彼らは背教者かもしれません。

ピア・サポート
「陽だまり」

■サイトの紹介 ■事例 ■サイト
についての質問 ■メンバーのプ
ロフィール

■連絡先

携帯電話へURLを読み込む



ホームページへ戻る

Copyright©2006. JW peer support.

自己紹介

- ▶ 一般社団法人 宗教2世支援センター陽だまりを設立
現在まで百数十件の相談を受けている





本日のテーマ

- ▶ 今までの支援の具体的活動
- ▶ 支援活動から見える宗教2世
- ▶ 支援に必要な視点
- ▶ 注意すべき事柄
- ▶ まとめ：宗教2世が望む支援とは





一般社団法人
宗教2世支援センター
陽だまり

今までの支援の具体的活動

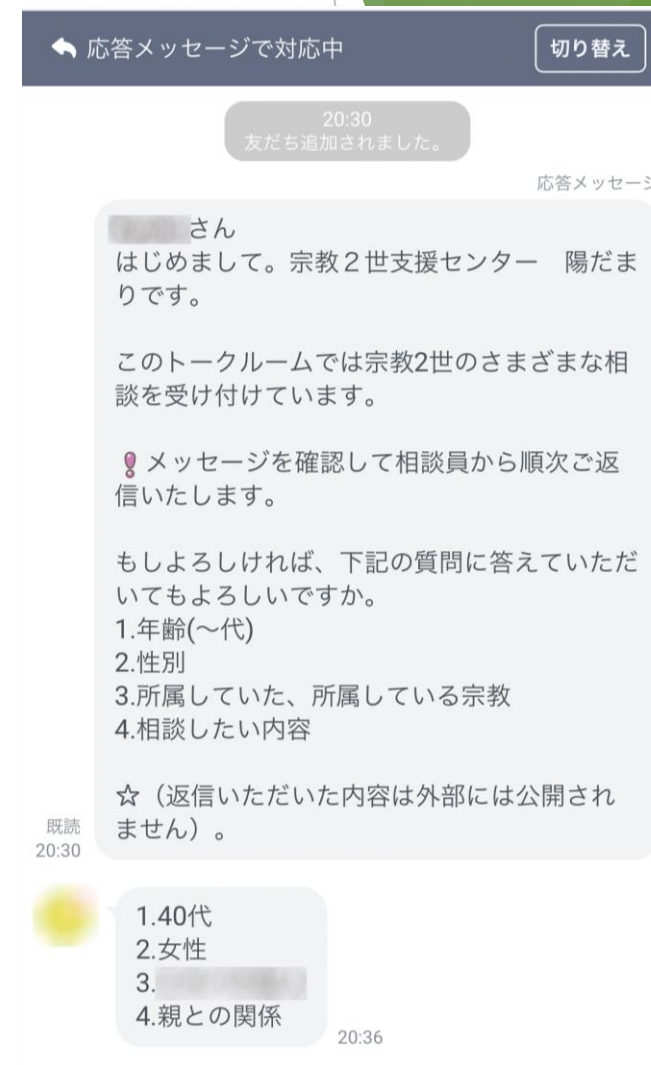
©2023 nisei-hidamari

宗教2世問題
について考える



今までの支援の具体的活動

- ▶ メール・チャットなどの**文章**による相談対応
- ▶ 電話・LINE電話など**口頭**の相談対応
- ▶ 自助会・オフ会などの**横のネットワーク**をつなぐ
- ▶ 対面による**直接的**な相談
(現在、場所設置のためクラファン実施中)





一般社団法人
宗教2世支援センター
陽だまり

支援活動から見える宗教2世

©2023 nisei-hidamari

宗教2世問題
について考える

支援活動から見える宗教2世

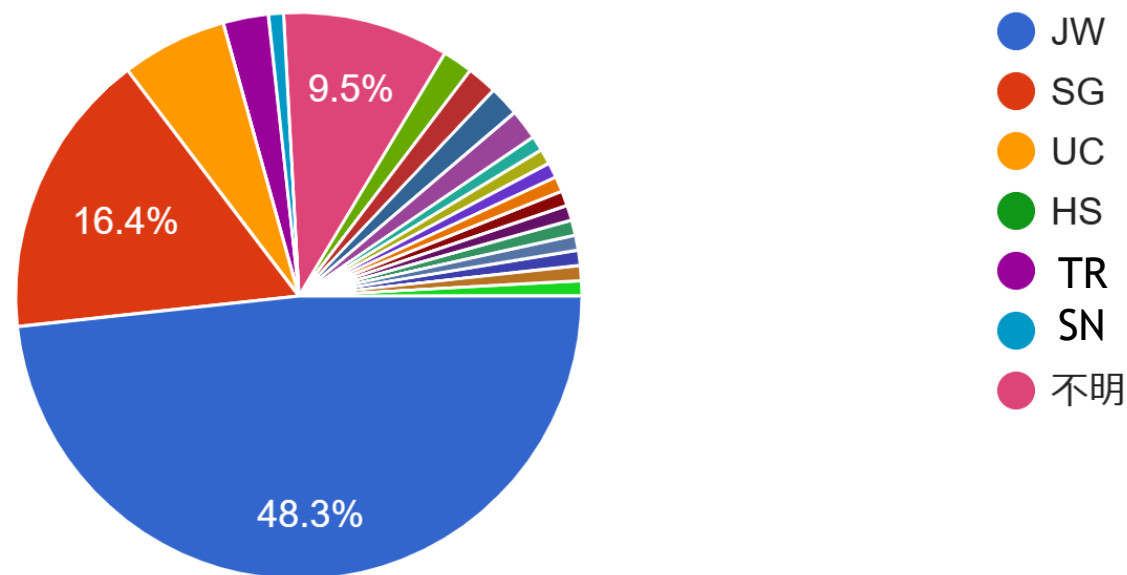
▶ ご相談宗教2世の団体

①エホバの証人 (48%)

②創価学会 (16%)

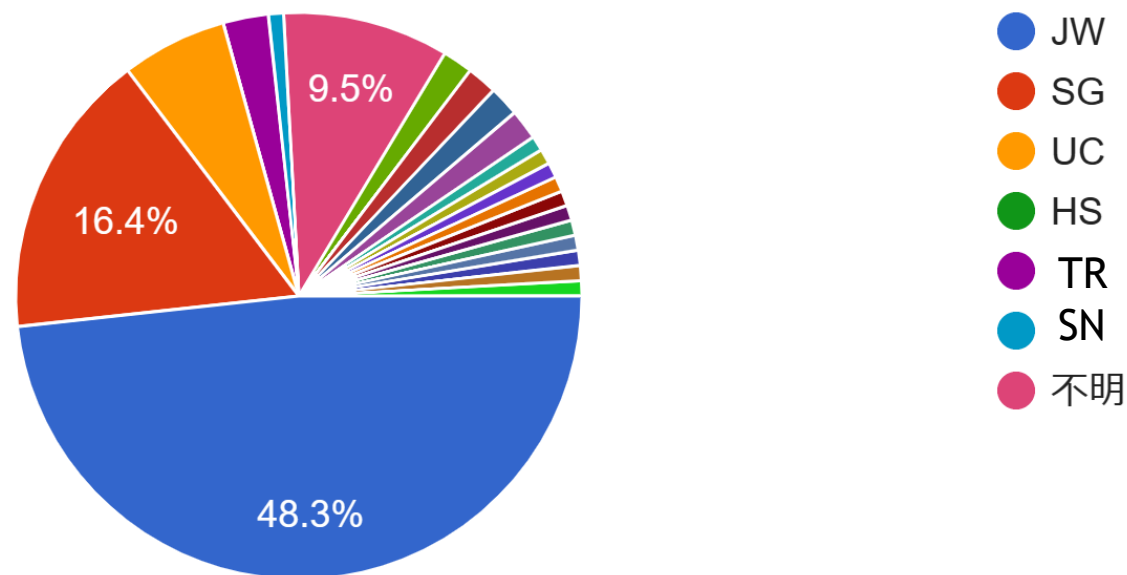
③統一教会 (6%)

上記3つの団体で全体の**71%** (2/3以上)



支援活動から見える宗教2世

- ▶ ご相談宗教2世の団体
一部**伝統的宗教**や
個人の**オリジナル宗教**
比較的**穏健**と思われる
宗教団体からの相談も
ある





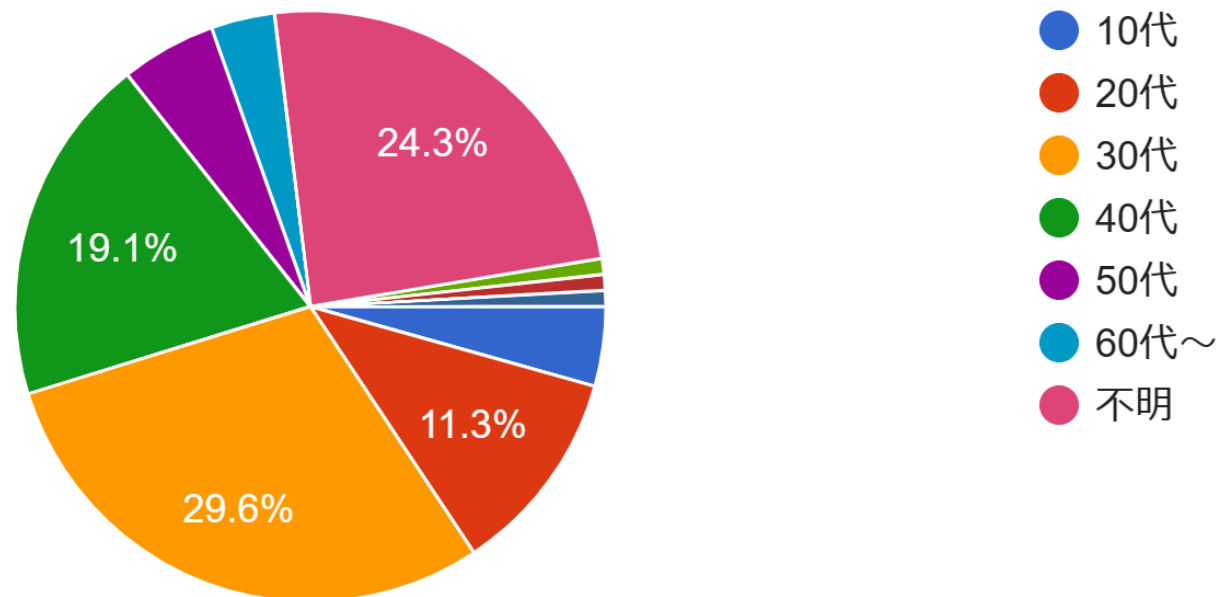
支援活動から見える宗教2世

▶ ご相談宗教2世の年齢

30代 (30%)

40代 (19%)

20代 (11%)



20代~40代で**60%**を占める



支援活動から見える宗教2世

- ▶ 戦後の団塊世代以降（1950年～1970年生まれ）の信者が急速に増えた教団が主となる
- ▶ 相談者も1970年～1990年生まれが多い
- ▶ 子供（10代未満から10代前半）世代の相談は少ない



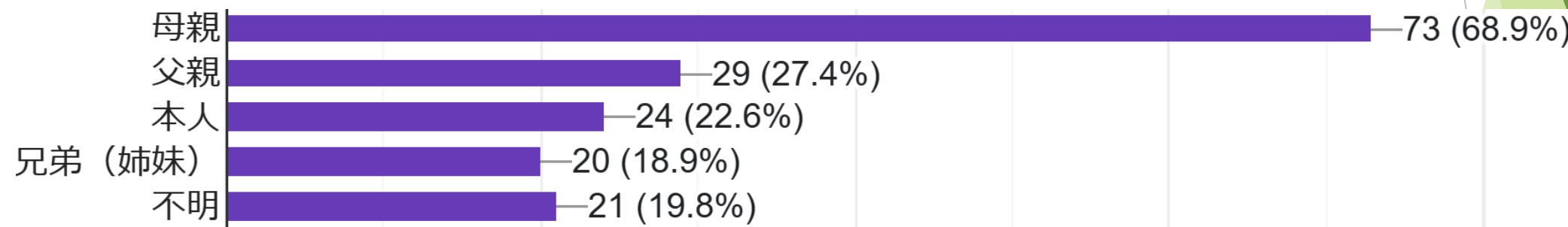
支援活動から見える宗教2世

▶ ご相談宗教2世の信者家族

母親 (69%)

父親 (27%)

兄弟・姉妹 (19%)



母親が圧倒的に多い



支援活動から見える宗教2世

▶ 相談内容

① **家族**の悩み (41%)

② **メンタル**に関する悩み (22%)

③ 自分の事を**聞いて欲しい**・**話し相手**が欲しい (19%)



支援活動から見える宗教2世

▶ 相談内容（つづき）

④ **人間関係**（教団内・教団外）に関して（18%）

⑤ **虐待等**について（17%）

⑥ **仕事や経済状況**に関して（16%）





支援活動から見える宗教2世

▶ ご相談宗教2世の信仰の有無

信仰無し（66%）

信仰あり（4%）

その他（考え中や疑念を持っている、信じていないが怖いなど）（12%）

「信仰無し」と言い切れない人が一定数いる



支援活動から見える宗教2世

- ▶ **家族関係**の悩みが最も大きい
- ▶ 信仰の悩みは思っているほどは**多くない**（信じていない人も多い）
- ▶ **メンタルの不調**を訴えられる、あるいはカウンセリングや心療内科・精神科への通院される方もいる



支援活動から見える宗教2世

- ▶ 人間関係の悩みも多く、特に**一般人との付き合い方**に悩まれるケースは多い
- ▶ 虐待問題も一定数あるが、それが**メインになること**はそれほど**多くない**
- ▶ 経済状況によっては、**職業の悩み**が増加する
(メンタルの悩みも比例して増加)



一般社団法人
宗教2世支援センター
陽だまり

支援に必要な視点

©2023 nisei-hidamari

**宗教2世問題
について考える**



支援に必要な視点

▶ 宗教2世問題は**複合問題**

ご相談では、複数の問題が絡み合っていることが多い

単なる信仰や家族の問題、虐待問題にとどまらない



支援に必要な視点

- ▶ まず理解して聞いてあげること！

多くの方が「**誰にも言えなかった、誰に言っても理解してもらえなかった**」という

「聞くこと」より、「**理解すること**」が大切



支援に必要な視点

- ▶ 宗教の問題が解決すれば**終わるわけではない**
 - ・ 信者を続ける親との関係
 - ・ 一般社会に感じる**疎外感**
 - ・ 学業・職業・恋愛・結婚などの**失われた機会**から来る影響

支援に必要な視点

- ▶ 宗教の問題が解決すれば**終わるわけではない**

やめた後の影響	宗教1世	宗教2世
家族	関係改善	関係悪化・断絶・付きまとい
一般社会	復帰	不慣れ・戸惑い
失われた機会	リセット	新たに構築

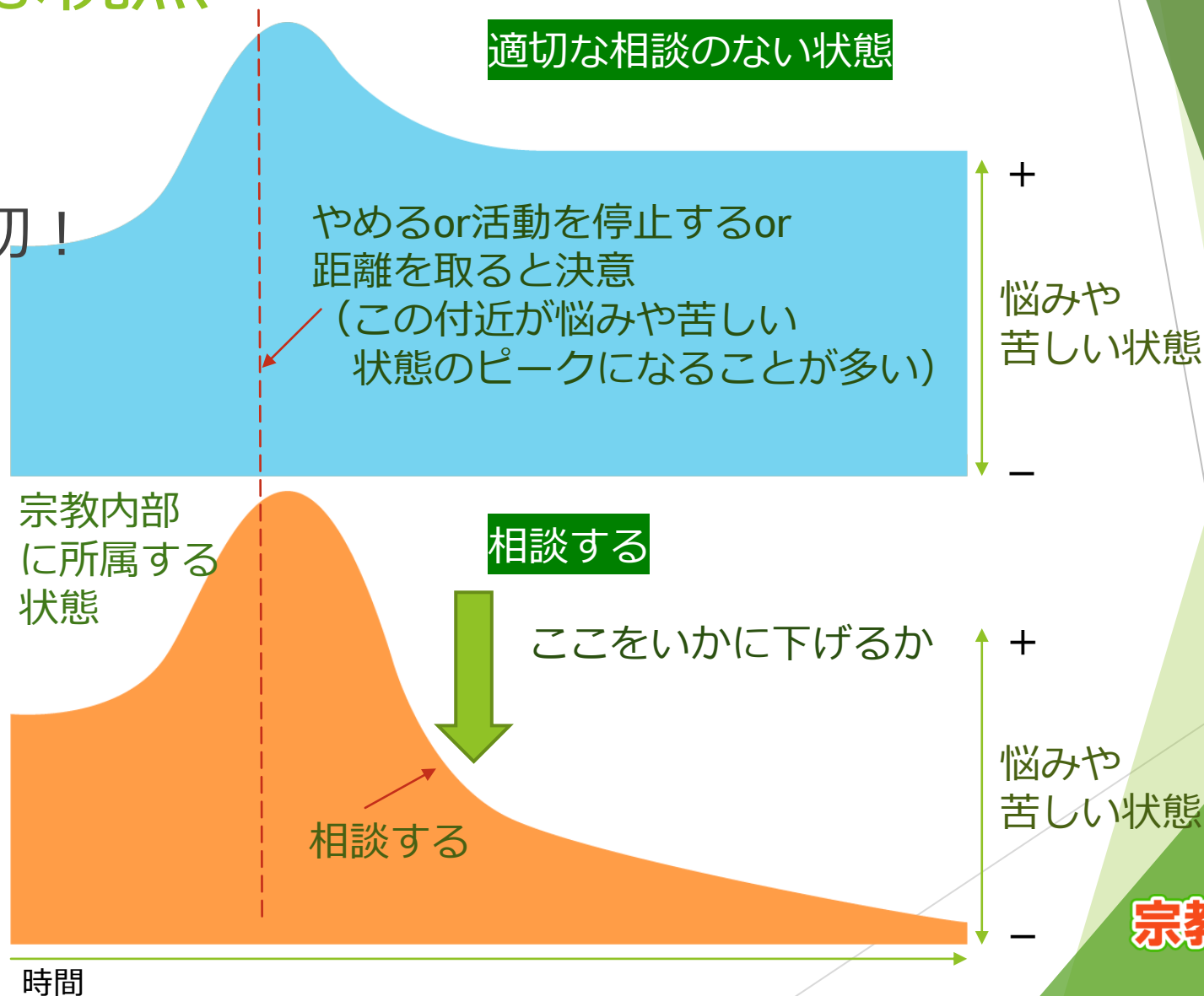


支援に必要な視点

▶ **相談時期**が大切！

やめた時期が
悩みのピーク

適切な対応が
なされないと
高止まりする
こともある



**宗教2世問題
について考える**



支援に必要な視点

▶ 課題解決のハードルを下げる

宗教2世問題は複雑なため、**すべてを一度に扱うことは難しい**

ご相談者は全部をいっぺんに扱おうとして行き詰ってしまわれることも多い



支援に必要な視点

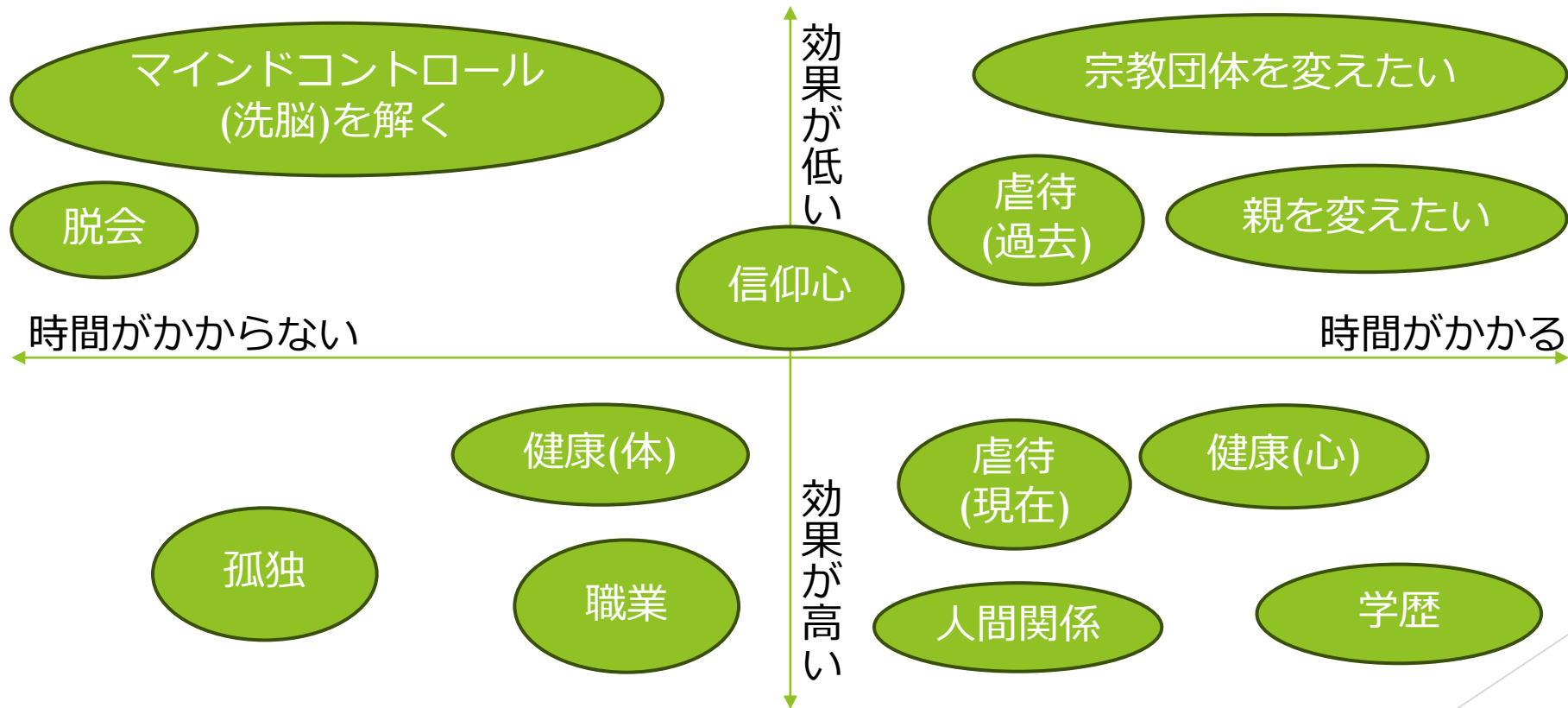
▶ 分解して整理する

問題が複雑な場合は、整理しながら、その人が
解決しやすく効果の高い部分はどこかを考える

相談者の周囲の**人間関係**にも気を配る

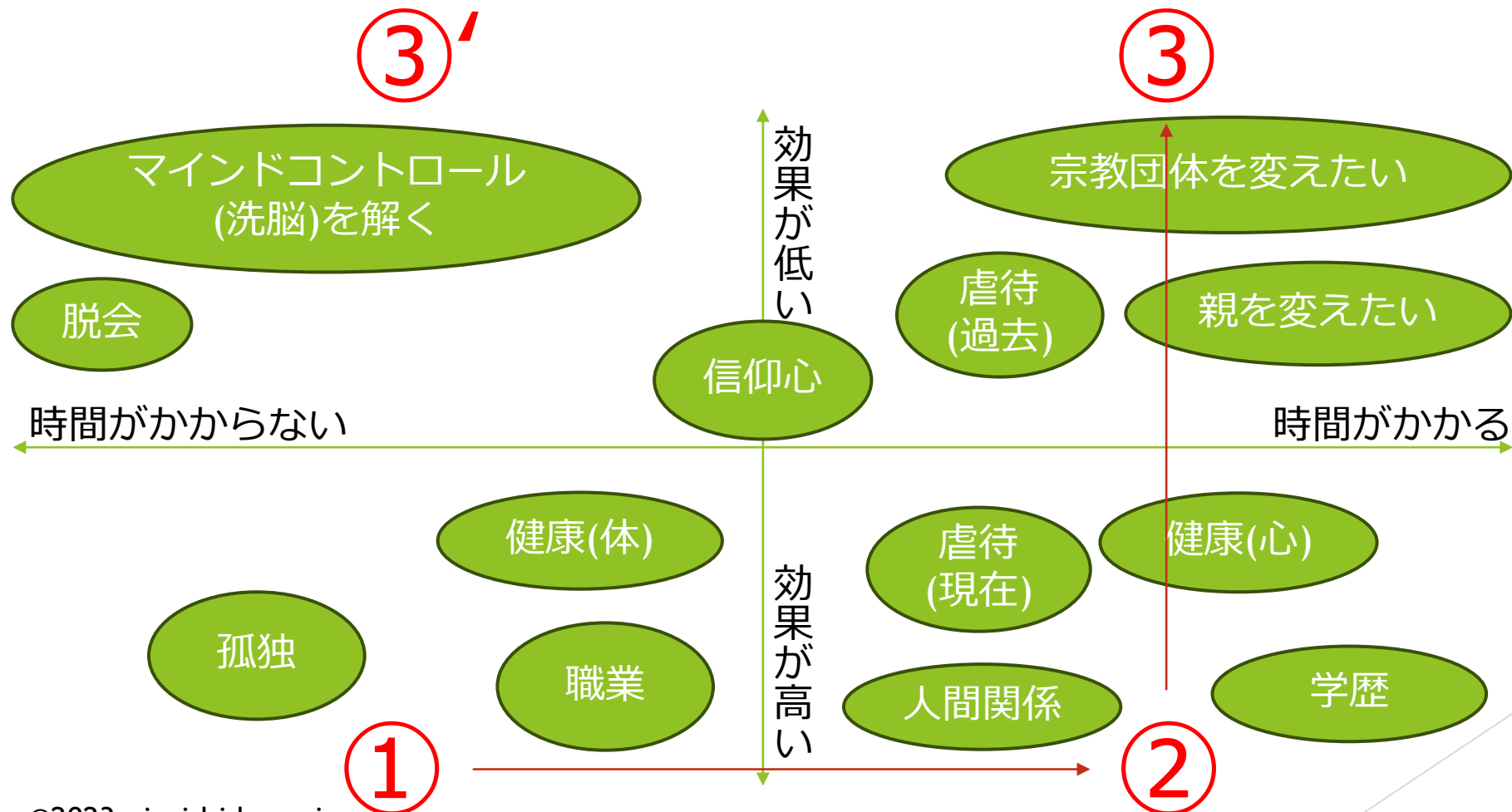


支援に必要な視点





支援に必要な視点





支援に必要な視点

- ▶ 自分の悩みや苦しみをうまく話せない人もいる
- ▶ 相談内容の影に隠れている本当の悩み

じっくり聞きながら、どこに悩みの核があるかを
探ることが必要



支援に必要な視点

▶ 相談者の**認識**が重要

- ① 自己
- ② 家族
- ③ 宗教団体（指導者・メンバー含む）
- ④ 一般社会（人間関係含む）
- ⑤ 世界観

それぞれをどうとらえているかで課題が変わる

支援に必要な視点

▶ 外部との連携も必要

- 心の健康 → 精神科、心療内科、カウンセラー
(宗教2世の知識がない場合が多いので注意は必要)
- 貧困・避難 → 地方自治体/シェルター、NPO団体
- 法律的な問題 → 法テラス、法律相談、弁護士



支援に必要な視点

▶ 経済状況も重要

リーマンショック期の相談は**深刻**になることが多かった

経済状況も宗教2世問題に強い影響を及ぼす

希望したライフステージを踏めないことも悩みになる

若年者の将来を生きやすい社会にするという視点も重要



支援に必要な視点

▶ 宗教団体に対する客観的理解も必要

- ・ 組織
- ・ 教義
- ・ 行動パターン
- ・ 目的
- ・ 類型
- ・ 評価



課題を理解するため
ある程度押さえておく必要はある



一般社団法人
宗教2世支援センター
陽だまり

注意すべき事柄

©2023 nisei-hidamari

宗教2世問題
について考える

注意すべき事柄

- ▶ 先入観による押し付け
 - ・ 問題の評価（自分の思っているコトに当てはめる）
 - ・ 自身の経験の延長
 - ・ 無知による推察と上から見下ろす態度

注意すべき事柄

- ▶ 先入観による押し付け
 - 白紙で見る
 - コトより人
 - 相談者に語らせる





注意すべき事柄

▶ 高度な**中立性**の維持

まだ信じている、疑ってはいない人もいる

自分の宗教や親を**悪く**言われるのを望まない人もいる

宗教や親に対する**アンビバレント**な感情もある

問題を認識しながらも、敵対的でない**中立的な立場**

での支援が望ましい



注意すべき事柄

▶ 過去を**否定**しない

過去の経験を全て捨て去るよう圧力をかけるのは誤り

辛い過去でも、その人にとっては**大切**な人生

その人の人生を**全否定する言動**はしてはならない



注意すべき事柄

▶ 絶望させる言葉を言わない

「宗教2世の問題は一生消えない呪縛」

「受けたマインドコントロールは一生続く」



これら表現は根拠もなく2世を**絶望**させかねない



一般社団法人
宗教2世支援センター
陽だまり

まとめ：宗教2世が望む支援とは

©2023 nisei-hidamari

宗教2世問題
について考える



まとめ：宗教2世が望む支援とは

- ▶ 宗教2世は**団塊世代以降**の親たちの**子弟**が中心
(タイムラグの存在)
- ▶ 悩みは多様であるが「**家族**」「**メンタル**」
「**自分のことを聞いてほしい**」というものが多い
- ▶ 必ずしも「**信仰**」の問題ではない



まとめ：宗教2世が望む支援とは

- ▶ **理解と傾聴**が重要
- ▶ **タイミング**や**人間関係**も意識する
- ▶ **解決しやすい課題**を優先する





まとめ：宗教2世が望む支援とは

▶ 避けるべき事柄/態度

- 先入観による**押し付け**
- 信条や信仰、複雑な思いへの**無配慮**
- 相手の過去の**否定**
- **絶望**させる言葉





まとめ：宗教2世が望む支援とは

- ▶ 宗教2世を**全人的**に受け入れる姿勢が肝要
- ▶ そのうえで課題に向かって**寄り添う**こと
- ▶ 前向きで現実的な**ゴール**を示すことも大切





クラウドファンディング

- 支援活動の充実
- 対面相談の場所の確保
- 常駐スタッフ体制の構築



©2023 nisei-hidamari



一般社団法人宗教2世支援センター陽だまりがクラウドファンディング挑戦中

第一目標金額 300万円 2023年 6月 1日 (木)~ 7月 30日 (日) まで

悩む宗教2世を救いたい！

支援体制強化で「相談できる場所」を広げたい

※本プロジェクトは All or Nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご支援は返金いたします。

安倍元首相銃撃事件から1年が経とうとしています。
事件を機に、旧統一教会を中心とした宗教2世問題がクローズアップされました。

当事者団体として20年以上活動してきた「エホバの証人ピアサポート陽だまり」(任意団体)には、多くの宗教2世の方やその声を聞いてこられた関係者から、「宗教2世支援のための非営利団体を立ち上げてほしい」という声が寄せられました。

そこで今年1月16日、より多くの方を支援する体制や専門性を担保し、行政との連携なども視野に入れ、一般社団法人 宗教2世支援センター陽だまりを設立しました。

これまでは手弁当で活動してきましたが、支援活動をより広げていくための体制づくりや広報活動へのご支援をお願いしたく、クラウドファンディングを立ち上げました。

長い間の取り組みの経験と蓄積を活かし、宗教2世として悩む方々への十分な支援活動を展開していきたい所存です。温かいご支援をよろしく願っています。

宗教2世支援 レディーフォー



お問い合わせ先 一般社団法人宗教2世支援センター陽だまり 担当: 秋本
EMAIL: info@nisei-hidamari.org TEL: 050-3046-6745
https://readyfor.jp/projects/niseihidamari



宗教2世問題
について考える



陽だまり相談室 イメージ





#社会にいいこと #子ども・教育 #人権 #マイノリティ #貧困 #中間支援

悩む宗教2世を救いたい！支援体制強化で「相談できる場所」を広げたい

宗教2世支援センター陽だまり



宗教2世が
ひとりで
悩まない
社会にしたい。

目標金額を達成した場合のみ、実行者は集まった支援金を受け取ることができます(All-or-Nothing方式)。支援募集は7月30日(日)午後11:00までです。

ご協力ありがとうございます！
あなたのシェアで**5人**がプロジェクトを訪れました。

支援総額

1,352,000円 目標金額 3,000,000円

45%

支援者 残り
119人 45日

フォロー中

応援コメント

広瀬 憲一 19時間前
微力ながら支援させていただきます。

追加で支援する

支援履歴の確認はこちら

[シェア](#) [ツイート](#) [LINEで送る](#) [noteで書く](#)

<https://readyfor.jp/projects/niseihidamari>



©2023 nisei-hidamari

**宗教2世問題
について考える**



ご清聴ありがとうございました。

